

デーリー東北  
2019年(平成31年)1月23日(水曜日)(20)

# ロボット工学学科越え

## 20年度八工大が新プログラム

八戸工業大(長谷川明学長)は22日、ロボット技術に関する学問を学科横断的に履修する「ロボット工学プログラム」を2020年度に開設すると発表した。人工知能(AI)やIoT(モノのインターネット)などが急速に発

展する中、地方で活躍できるロボット技術者を養成するのが狙い。新しい学科は開設せず、履修を希望する学生は既存の複数学科で専門の講義を受け、知識と技術の習得を目指す。

(須田山裕太)



学科横断型「ロボット工学プログラム」の概要を説明する関秀廣教授(22日、八戸工業大)

## 地方の技術者養成へ

同大で同日開かれた記者会見で、長谷川学長とプログラムのリーダーを務める電気電子システム学科長の関秀廣教授が明らかにした。

同大ではこれまで、機械工学と電気電子工学、システム情報工学の3学科で、それぞれロボット工学に関する講義を開いてきた。ただ、AIなどで情報処理を制御するのはシステム情報工学科、アームの動きを設計するのは機械工学科、センサーで得た情報を通信して機械を動かすのは電気電子工学科のよう

さなければならぬ。ロボットは今後、介護や農業などさまざまな分野での活用が期待される。より高度で専門的な技術を持つ人材の育成に対応するため、学生が関連科目を一体的に学べる環境を整備する。プログラムに参加するのは20年度に入学する1

年生からで、現時点で定員は未定という。長谷川学長は「ロボットに携わる技術者が不足しているといわれる。地域の大学として知識を持った技術者を社会に送り出し、地域貢献をしていきたい」とプログラム開設の意義を強調した。